

令和7年1月15日

網走市破砕・リサイクル施設及び最終処分場維持管理業務委託にかかる
公募型プロポーザルに関する質問回答書

番号	質問項目	質問内容	回答
1	資源物の残さについて	ビンや缶などの資源物を処理した後の空袋は年間でどのぐらいの量になりますか？	空袋のみのデータはありませんが、資源物のうち、リサイクルできず残さとした量は、令和5年度実績で230t/年です。
2	焼却にかかる委託について	一部大空町へ委託し、焼却しているとのことだが、どのぐらいの量になりますか？	令和5年度実績 64t (内訳) 紙系ごみ 45t 紙おむつ 14t 古着 5t 令和6年度実績 54t(見込) (内訳) 紙系ごみ 51t 古着 3t
3	埋立ごみの排出量について	指定ごみ袋(赤色)に入った埋立ごみの排出量は年間でどのぐらいの量になりますか？	指定ごみ袋(赤色)に入った家庭系埋立ごみの排出量は令和5年度実績で1,416tです。なお、処分場への直接搬入や事業系を含めた埋立ごみ全体については、3,900tとなります。
4	ヒアリング審査時の持ち込み資料について	ヒアリング審査時の持ち込み資料は「提出済みの企画提案書以外の資料等の配布は認めない。」とありますが、ヒアリング審査でパソコンを使用してプレゼンテーションする場合、その内容は企画提案書と異なる内容でもよろしいですか？それとも、全く同じ内容でなければなりませんか？	提案書のページを複数枚に分割して見やすくする、補足説明用のテキストボックスの追加や色を付ける、文字を大きくする等、提案書の内容をベースとしたデザインの変更は問題ありません。

番号	質問項目	質問内容	回答
5	従事者管理について	業務遂行にあたり、提供された施設及び機材、作業内容が労働安全衛生法等関係法令に基づく支障を改善する必要がある場合、発注者側において改善していただけるものと理解してよろしいですか？	市が設置した施設や設備に支障がある場合は、発注者である市において改修等を行います。また、作業内容に支障がある場合は、作業手順の見直しなどについて受託者と協議し、必要な措置を講じます。
6	最終処分場の使用可能期間について	1) 令和 6 年 10 月時点の埋立残余容量の実測値、および直近の実測値があれば教えてください。 2) 延命化計画によれば、令和 5 年 10 月時点の埋立残余容量は、48,887 m³となっていますが、1) の実測値から把握される令和 5 年 10 月から令和 6 年 10 月までの 1 年間の埋立量(tとm³)を教えてください。	1) 残余量調査による残埋設容量 R6.10 41,925 m³ 2) R5.10～R6.9 の埋立量 重量 9,776t 容積 6,962 m³
7	最終処分場の使用可能期間について	埋立しているごみの種類別に嵩比重と容積率の数値をご提供下さい(容積率は、覆土量も含めて 100%とするものです)。※直接埋立ごみ、使用済み紙おむつ、生ゴミ残渣、リサイクル残渣、破碎後埋立ごみ(一軸)破碎後埋立ゴミ(二軸)、実測データがない場合は、市で把握している概算数値をご提供下さい。	・直接埋立ごみ 2.22 m³/ t ・破碎後埋立ごみ 1.38 m³/ t ・使用済み紙おむつ類 3.7 m³/ t ・生ゴミ残さ 1.02 m³/ t ※「網走市廃棄物最終処分場延命化計画」の中で使用している値
8	最終処分場における減容効果について	平成 30 年にごみ質調査を行っていますが、直近のごみ質データまたは、分別状況を示すデータをご提供下さい。	区分別に実施したごみ質調査は平成 30 年度以降行っておりません。本調査結果については、別途添付します。

番号	質問項目	質問内容	回答
9	破碎・リサイクル施設における減容効果について 最終処分場における減容効果について	当初埋立計画量 4,468t のうち埋立・粗大 2,580t に対して、R5 実績で直接埋立・破碎後埋立が 3,998t と他の種類に比べて大きく計画値を上回っていることについて、考えられる要因が判れば教えてください。	当初の計画量よりも、埋立ごみに再資源化できるごみが多く含まれていることが要因と推測します。
10	破碎・リサイクル施設における減容効果について	現在のすべての分別・中間処理(二軸破碎含む)後の埋め立てられるごみ(t)の、埋立転圧覆土後の埋立容量(m³)に関する嵩比重データがあればご提供下さい。	ご質問の嵩比重データはありません。
11	最終処分場における減容効果について	1) 今回の提案は、処分場の延命のための嵩上げ工事及び次期最終処分場の整備を行うことを前提として組立ててよろしいでしょうか(最終処分場の完成まで延命)? そうだとしますと、嵩上げ工事は、埋立完了の 2 年前から着手、次期処分場は、嵩上げ拡張後から埋立完了の 4 年前から整備に着手するとされているので、現在から最低限 6 年間以上必要と考えられ、令和 7 年度からだと令和 12 年度末以降までの延命が必要と考えてよろしいでしょうか? 期間) 2) 1) の嵩上げ拡張後、基本計画中の未来排出量予測値を含め現在の減容化、延命化策で、残余容量がゼロになると予測される年月を教えてください。	1) 今回のプロポーザルでは、最終処分場の使用期限は設定しません。提案書には、現在の最終処分場で実施できる新たな減容化策を提案してください。 2) 令和 6 年 10 月の測量結果をもとにした推計では、令和 15 年 1 月と見込んでいます。
12	ごみ処理基本計画について	今回の提案内容によっては、令和 6 年 3 月に策定した「網走市一般廃棄物処理基本計画」のごみ処理基本計画の改定も検討されるものと考えてよろしいでしょうか?	計画策定の前提となっている諸条件に大きな変動があった場合には、見直しをすることとしています。

番号	質問項目	質問内容	回答
13	ごみ処理の委託について	民間活用の一環として、紙オムツ以外にも産業廃棄物処理施設の設置許可を有する近郊または道内の産業廃棄物処理業者から申し出が有った場合、当該業者に市のごみ処理の委託を検討する可能性はありますか？（廃棄物処理法第 15 条の 2 の特例の承諾、同法第 6 条の 2 第 2 項に基づく一般廃棄物の処分委託）	延命効果に資するものであれば可能性を否定するものではありません。
14	破碎・リサイクル施設における減容効果について 独自の技術提案について	掘り起こしと二軸破碎による減容効果についてデータがあればご提供下さい。何 m ³ の掘り起こしにより、何 m ³ の覆土が除去または再利用され、二軸破碎・選別により何 m ³ の減容化になったのか？掘り起こし量に対し、何パーセントの減容効果を期待できる結果だったのでしょうか？また来年度以降の掘り起こし計画量を教えて下さい。	約 2,000 m²の範囲を、最深部で約 10m 掘り起こしましたが、掘り起こした容積、除去した覆土量の測量はしていません。 来年度以降は、概ね今年度と同じ面積の掘り起こしを予定しています。
15	破碎・リサイクル施設における減容効果について 最終処分場における減容効果について	1) 今年度の減容化は、掘り起こしによる限定的な減容なのか、令和 6 年 3 月策定の延命化策による継続的な減容を期待できるものか、または双方により何 m³づつ減容されたと考えられるか、最大効果が何によるものだったと考えられるか教えて下さい。 2) 延命化策単独では、〇%相当と考えられるか教えて下さい。 3) 2) が 80%以下、100%以上となる場合、その変動した要因を教えてください。	今年度、新たに実施した、自走式破碎機による破碎と、掘り起こしの双方による減容効果と考えています。 また、減容化策を実施して、一年目であり現段階では、個々の効果を検証するのは難しいと考えます。

番号	質問項目	質問内容	回答
16	仕様書について	廃棄物処理法施行令第4条第1項に委託する場合の基準に、「受託者が受託業務を遂行するに足る施設、人員及び財政的基礎を有し、かつ、受託しようとする業務の実施に関し、相当の経験を有する者であること」とあります。 仕様書における「配置」とは、使用する車両・重機は常時処理場内に配置するものと理解していますが、よろしいでしょうか？	仕様書に記載の車両および重機は参考であって、市と協議の上、使用する車両の増減、及び変更することができます。従って、必ずしも常時配置する必要はありません。
17	実施要領について	提案内容として地球温暖化対策への貢献やカーボンニュートラルの取り組み、地方創生の視点を組み込んだ場合、その内容は配点評価の対象となりますか？	今回のプロポーザルでは、配点評価の対象とは想定していません。